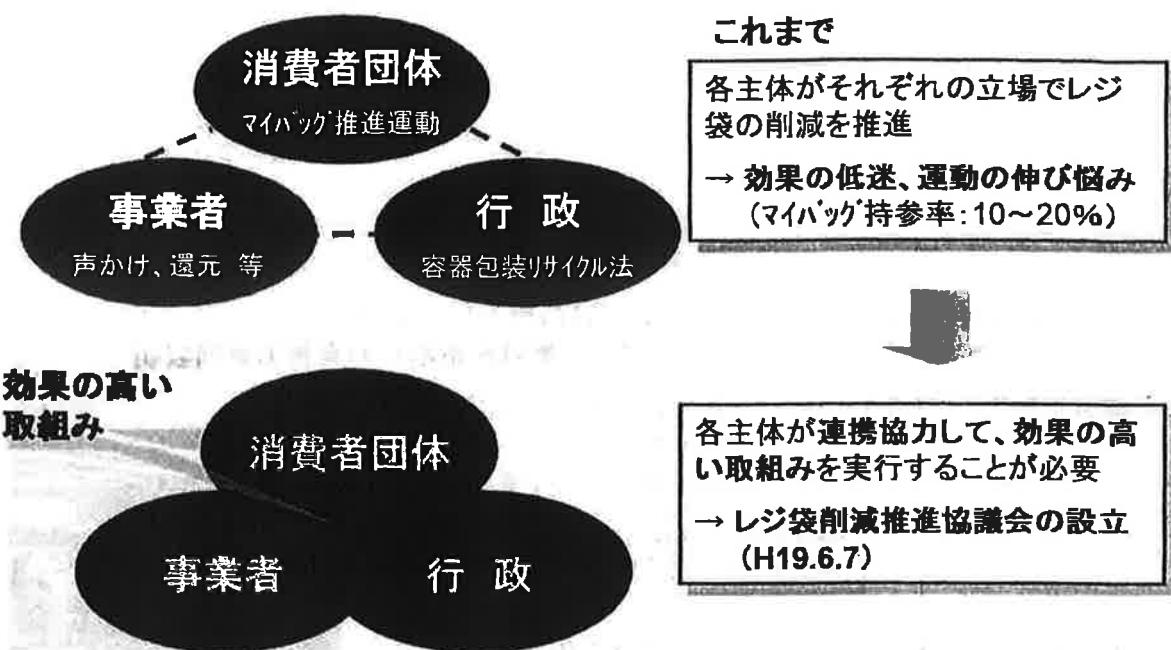


## レジ袋削減の取組み

### ●レジ袋削減推進協議会の設立



## レジ袋削減の取組み

### ●レジ袋削減推進協議会の設立

H19.6	会長：宮下 富山県環境審議会会长 事業者：スーパーマーケット10社・1協同組合(123店舗) 消費者団体：6団体 （県消費者協会、県婦人会、県生活学校連絡協議会、 県PTA連合会、県環境保健衛生連合会、 とやま環境財団） 行政：県(協議会事務局)、市町村
-------	---

H19.11 スーパーマーケット1社(6店舗)が新規参加

H20. 3 スーパーマーケット25社(116店舗)、消費者団体、行政の3者で協定書を締結

※協定締結時に消費者団体4団体が新規参加

3月末に スーパーマーケット2社(4店舗)、クリーニング業1社(88店舗)が  
新規参加

## レジ袋削減の取組み

### ●協議会での議論の流れ

第1回協議会(19年6月)	・県として無料配布取止めの早期実現を要請
第2回協議会(19年10月)	・レジ袋有料化の事例研究等 ・意見交換
第3回協議会(19年10月)	・『レジ袋削減の理念』の検討 ・無料配布取止めに関する意見交換 ・消費者団体から、事業者に無料配布取止めを要請
第4回協議会(19年11月)	・『レジ袋削減の理念』とりまとめ ・事業者から、無料配布取止め実施の意向表明
第5回協議会(19年12月)	・無料配布取止めの実施日の合意 (20年4月1日から) ・周知計画、周知資材の検討
	・地元の主要な市民団体、経済団体に協力要請 ・経済界がマイバッグ無料配布で協力
第6回協議会(20年2月)	・周知状況等の中間報告



第1回協議会

## レジ袋削減の取組み

### ●レジ袋の無料配布取止めの概要

- 20年4月1日から、県内全域で一斉にスタート ⇒ 全国初
- スーパーマーケット、クリーニング店 28社208店舗で取組み
  - [ スーパーマーケット 27社120店舗 ]
  - [ クリーニング店 1社 88店舗 ]
- レジ袋1枚の価格 スーパーマーケット 5円  
クリーニング店 10円
- レジ袋の収益金等は地域の  
環境保全活動等に活用
- 事業者、消費者団体、行政  
の三者で協定書を締結し、各  
主体の役割分担と連携協力を確認



協定締結式

## レジ袋削減の取組み

### ●普及啓発活動

20年1～3月に、「レジ袋の削減の意義」に関する啓発と4/1スタートの周知のため、あらゆる媒体を活用して積極的にPRを実施

#### ■ ノーレジ袋県民シンポジウムの開催

県内4会場で開催、約800人が参加

#### ■ テレビ、ラジオ等の広報媒体による普及啓発

県政テレビ・ラジオ番組、テレビスポットCM、新聞広報、県広報誌

#### ■ 各種団体の会合での説明

各種団体の会合や出前県庁を通じた説明を実施(約40回、約1,500名)

#### ■ 普及啓発資材の作成、提供等

・チラシ(130万枚)、ポスター(2千枚)、のぼり旗(750本)の作成、事業者等への提供

・消費者団体、経済団体など環境とやま県民会議117団体を通じたチラシの配布

・各種イベントにおけるチラシの配布、ポスター等の掲示

・チラシの全戸配布(約37万2千世帯)



### ●実現の要因

#### レジ袋削減の取組み

#### 消費者団体

- ・10年以上にわたる取組み
- ・事業者への後押し

#### 事業者

- ・環境への理解
- ・高いCSR意識

県下全域での  
無料配布の取止め！

#### 行政

- ・トップの姿勢の明確化

## ●今後の課題

### ■マイバッグ持参の定着及び取組みの「輪」の拡大

- ・マイバッグを、日常生活の中の「当たり前」の行動として定着する必要がある。
- ・ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアなどの他業種にも、取組みの輪を広げる必要がある。

### ■環境にやさしいライフスタイルへの転換

- ・地球環境にやさしいライフスタイルの実践
- ・循環型・脱温暖化社会の構築

## レジ袋削減の取組み

### とやまエコライフ・アクト10宣言

#### チーム・マイナス6%の取組み

ACT 1 洗濯の設定温度は28℃、洗濯時の室温は20℃にしよう

ACT 2 買い物はごまめにしめよう

ACT 3 ふんわりア クセル「e スタート」をしよう

ACT 4 エコ製品を選んで買おう

ACT 5 無駄なレジ袋は 断ろう

ACT 6 コンセントから ごまめに抜こう

#### とやまオリジナルの取組み

ACT 7 マイカーに乗らずに出かけよう

ACT 8 自然とふれあい、緑を守り育てよう

ACT 9 賀源田保育の地域の環境保全活動に参加しよう

ACT 10 とやまの旬の食材を食べよう

## レジ袋削減の取組み

## ●ノーレジ袋県民大運動の展開①

マイバッグの持参を県民総ぐるみの運動として展開

## ノーレジ袋県民大運動2008

### ステップ1(普及啓発) 20年1~3月

・シンポジウム(4回)

・啓発資材の作成・配布

・テレビ、ラジオ等による広報

### ステップ2(実践) 20年4~6月

・環境とやま県民会議構成団体の

ノーレジ袋率先行動(117団体、4月)

・ノーレジ袋実践事例発表

(事業者、消費者の4~5月の取組み成果の発表:6月)

### ステップ3(定着・拡大) 20年7月~

・マイバッグコンテストの開催

(児童・生徒から大人まで参加できる複数部門でのコンテストの実施)

・とやま環境フェアでの啓発(10月)など

実施企業の拡大

## ◆ノーレジ袋県民大運動の展開②

ステップ2(実践)

20年4~6月

県民にマイバッグ持参を実践してもらう

レジ袋削減の取組み

【4月～6月の3カ月間】

マイバッグ持参率:92%

(スーパー・マーケット 89%)

(クリーニング店 95%)

事業者にレジ袋の無料配布取止めを実践してもらう



### ●4月以降も参加店舗は拡大中

- ・H20.4 スーパーマーケット4社(4店舗)、クリーニング店1社(28店舗)が協議会に新規参加
- ・H20.6 スーパーマーケット1社(1店舗)が協議会に新規参加  
既に参加しているスーパー・マーケット4社(17店舗)が新たに実施
- ・8月1日時点での取組みは全体で38社290店舗  
(スーパー・マーケット 32社142店舗)  
(クリーニング店 6社148店舗)

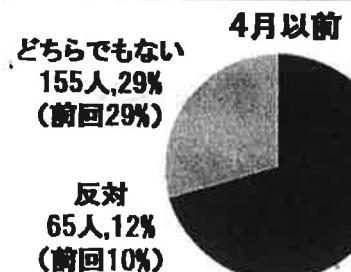
- ・環境とやま県民会議構成団体のノーレジ袋率先行動  
(117団体、4月)
- ・エコライフアクト大会でのノーレジ袋実践事例発表(6月)  
事業者:マイバッグ持参率の向上の成果  
消費者:マイバッグ持参の定着度合い、レジ袋をもらわ  
なくなったことによる生活の変化など



## ◆レジ袋の無料配布取止めに関するアンケート結果

- ・調査日時 平成20年6月8日(日)
- ・調査場所 富山県内スーパー3店舗(県東部、県西部、県中部の各1店舗)の店頭  
(前回調査日 平成20年5月1日(木)、2日(金) → 本調査結果では、「前回」と表記)
- ・調査方法 買い物客に対する聞き取り調査
- ・調査人数 528人(男性130人(25%)、女性398人(75%))

レジ袋の無料配布取止めに賛成か。



賛成  
308人, 59%  
(前回61%)



賛成  
368人, 70%  
(前回69%)

4月からマイバッグを持参しているか。今後、環境にやさしい行動に取り組もうと思うか。

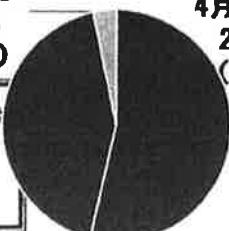
持参していない  
18人, 3%  
(前回5%)

4月前から持参  
283人, 54%  
(前回59%)

よくわからない  
68人, 13%  
(前回16%)

思う  
423人, 80%  
(前回74%)

4月から持参  
227人, 43%  
(前回36%)



思わない  
37人, 7%  
(前回10%)

レジ袋削減の取組み

## ●ノーレジ袋県民大運動の展開③

ステップ3 (定着・拡大) 20年7月～

県民にスーパー以外でもマイバッグ持参に取り組んでもらう

他の事業者にレジ袋の無料配布取止めに取り組んでもらう



### ・マイバッグデザイン・アイデアコンテストの開催

児童・生徒から大人まで参加できる複数部門でのコンテストの実施

(例えば) ・コンビニで使いたいマイバッグのデザインやアイデア

・ドラッグストアで使いたいマイバッグのデザインやアイデア など

・とやま環境フェアでの啓発(10月) など

レジ袋削減の取組み

## ●エコライフ・スタイルの推進

### ■はじめてのエコライフ教室の開催

・幼児とその親を対象としたエコライフ実践教室

・紙芝居やクイズ

・公園での美化活動

・ガーデニング

### ■気軽にエコライフ・アクトの展開

・県内のプロスポーツ団体の試合会場等で、

飲料用リユースカップを試験導入



TOYAMA  
CROWS

Rataver  
Toyama

### ■エコドライブ推進大運動の展開

・県民向けのエコドライブ実践講座の開講、指導者向け講習会の開催、

アイドリングストップ装置の導入支援



今、温暖化で地球が助けを求めていきます。  
この地球のために、私たちにすぐできることがあります  
何でしょうか？

まず、買い物にはマイバッグを持っていましょう。  
マイバッグを持っていくことを自分の心に約束した  
しるしとして、別紙の用紙に署名をお願いします。

今、水と緑に囲まれた大切な地球は、人間の活動により、二酸化炭素の増加による地球温暖化、オゾン層の破壊などで環境破壊が進み、いじめられています。早く手を打たないと子や孫の時代どころか、現在の私たちのくらしを守ることさえもできないかもしれません。かけがえのない地球を守るためにどんな生き方をすればよいかが、私たちに問われています。

便利さに慣れた今の生活スタイルを変えていきましょう！ 生活に深いとかわりのある買い物をするとき、気軽にもらったり、使ったりするレジ袋は、加工するときや燃焼するときにも二酸化炭素が発生します。

これからはマイバッグを持って買い物にいきましょう！ このことを自分の心に約束したしるしとして、別紙用紙に署名をお願いします。

ご協力いただいた署名については、「富山県レジ袋削減推進協議会」会長にお届けし、地球を守るために消費者の熱意をお伝えしたいと考えています。

平成19年7月

〔マイバッグ持参推進のための  
署名運動実行委員会〕

富山県消費者協会

富山県婦人会

富山県生活学校連絡協議会

J A 富山県女性組織協議会

たかおかマイバッグ運動を進める市民の会

富山国際大学 等

富山県消費者協会【富山県民共生センター(サンフォルテ)内】

〈連絡先〉

